

〇「プランと中間管理事業を見据え話し合いスタート」

(京都府京丹後市 久美浜地域会議)(市場地区 第1回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

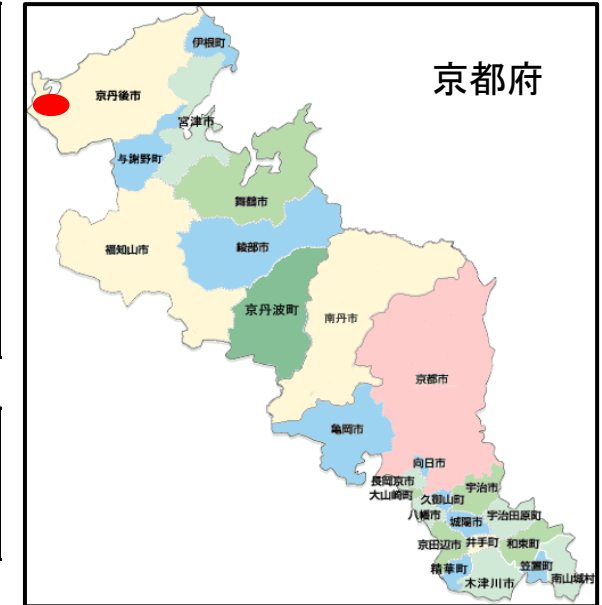
- 日時(時期): 平成30年12月8日(土) 19:00~21:30
- 場 所: 京丹後市久美浜町市場集会所
- 出席者: 委員1人、推進委員1人
耕作者・地主 21人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 水田面積25ha 水稲20ha ハウス80a(野菜採種) ブロックローテーション4ha(黒大豆・枝豆)
- 耕作者14名 専業農家8名(55歳~83歳) 生産調整の対応としてブロックローテーションを現在も取り組んでいます
- 利用権を整理。府下でもいち早く集落営農を取り組みましたが高齢化と後継者が課題となっています

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 京力農場プラン・農地中間管理事業の概要説明、意見交換
 - ・離農者等がある中、利用権設定の更新がなされていない。利用権設定の見直し、小作料・現物給付等のルール化が望まれる
 - ・営農組合設立から40年経過。世代交代ができておらず、機能が大幅に低下している。早急な営農組合の見直しが必要(農業後継者の育成)
 - ・農地利用の整理。水稲・露地野菜・ハウス栽培等の混在
- 引き続き話し合いを継続し、プラン作成から農地中間管理事業につなげる



4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援